

2023~2024年度
クラブテーマ

「思いやりのバトンリレー ~恩送り~」

◆第2620地区ガバナー 中村 皇積 (浜松ハーモニーRC)

◆山梨第3グループガバナー補佐 清水 健雄 (北杜)

◆会 長 吉原 知仙

◆副会長 塩澤 雅人 西野 直樹

◆幹 事 丹沢 浩己

2023~2024年度 RI会長 ゴードン R. マッキナリー
(スコットランド、サウスクイーンズフェリーRC)

■毎週火曜日 12:30~13:30 ■シャトレゼホテル談露館 TEL055-237-1331 ■事務局 TEL055-237-5475

「四つのテスト」言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

例会プログラム (2024/3/5)

ロータリー活動報告 中村晶紀会長
地区ロータリー活動委員長卓話
樋川勝一会員

例会予告

3月第2週 3月12日 (火)
雑誌紹介 西野直樹会員
米山奨学生カウンセラー卓話
立川 茂会員
3月第3週 3月19日 (火)
祝日週休会

出席報告

[会員数 74名]
[2/27会場出席率 53/69 76.81%]
[2/13修正出席率 休会のため、なし]
《Web例会出席者》3名
河阪、松村、依田
[2/27例会出席率 56/69 81.16%]

出席免除会員

氏原、臼井 (和)、大木、小林 (成)、長坂、
根津、原田、小玉、中込 (豊)、米山 (忠)

免除会員出席者

[5名] 氏原、臼井 (和)、大木、長坂、小玉

欠席者

[16名] 浅川、石川、金子、河阪、河内、
小宮山、四宮、萩原、樋川 (勝)、
福田、藤原、穂坂、松村、横内、
依田、ランタ

メイクアップ

RLIミーティング (2/24) 福田、渡辺 (郁)、
望月 (瑠)

ビジター

なし

ゲスト

卓話者
法蔵寺住職 善光寺法類 小幡徳生上人

例会記録

第3097回 (2024/2/27)

会長挨拶

吉原 知仙 会長

先ほど、本日の卓話者を小幡徳生上人 (おばたとくしょうしょうにん)、とご紹介させて頂きました。この敬称「上人 (しょうにん)」という言葉は皆さまご存知でしたか? 日蓮宗では「聖人 (しょうにん)」の字を使いますが、浄土宗ではこちらの「上人」を使います。どちらにせよ、あまり馴染みの無い言葉遣いですね。

菩提寺をお持ちの皆さまはいつも「お坊さん」の事をどのように呼んでいらっしゃるでしょうか。実は宗派や場所によっても呼び方は様々なんです。

一番ポピュラーなのは「和尚」でしょうか。これも、字は同じでも読み方は様々で、浄土宗や曹洞宗、臨済宗は「おしょう」天台宗は「かしょう」真言宗は「わじょう」と読みます。浄土宗も法名、所謂戒名で付けた場合は「かしょう」と読みます。ややこしいですね。あとは、宗派を問わず「方丈 (ほうじょう) さん」「御前 (ごぜん) 様」などでしょうか。また、宗派によっては「阿闍梨 (あじゃり)」「(天台、真言)「老師 (ろうし)」「(臨済、曹洞) などの呼び方も有ります。恵林寺ご住職はお若いですが老師と呼ばれているのをご存知の方も多いのではないでしょうか。

また、「住職」は地位を指す言葉になりますので、お寺には一人しかいません。会社でいえば「社長」と同じなので、一つの会社には一人の社長しかいないようにお寺で「住職」と呼ぶことが出来るのはお一人だけ、と覚えていて下さい。副住職は副会長と同じで何人いてもいいかと思えます。

ちょっとしたいつものお寺豆知識でした。

さてこのあとは、先週のグエンさんに引き続き渡邊会員の新会員卓話、そして会長テーマに沿った卓話として小幡徳生上人に次代を担う子供達、その幼児教育の大切さ等お話し頂きます。しっかりと拝聴致しましょう。

幹事レポート

丹沢 浩己 幹事

■幹事報告

1. 2023-24年度地区大会の会計報告と記録映像を作成したとの案内が届きました。記録映像は地区ホームページからダウンロードできるとのことです。

(ダウンロードの際に必要なパスワードは事務局にお問い合わせください。)

■例会変更

甲府東RC: 3/8 (金) 特別休会

3/15 (金) 休会

甲 府RC: 3/18 (月) 休会

スピーチ

*新会員卓話 渡邊智行会員

「凡事徹底」嵐は自ら立ち向かう

みなさんこんにちは。株式会社サンキョー甲斐ゼミナールの渡邊智行です。どうぞよろしくお願ひいたします。

甲斐ゼミナールは山梨、長野、静岡におよそ50教室を展開する総合進学塾です。今年創立50周年を迎えます。現在、小学校受験、中学校受験、高校受験、大学受験と幅広い層の学生が通っています。

主たる3つの柱として、授業・テスト・情報の提供があります。

授業はそれぞれ目的に合わせて、教科書の予習をするクラス、受験に特化したクラス、弱点を克服補強していくクラスと様々なクラスがあります。

2つめはテスト。現状の学力把握と現在の自身の位置そして合格判定など、甲斐ゼミナールに通ってからのように学力がついたかを知ってもらうためにあります。

授業とテスト、そして3つめが情報の提供です。甲斐ゼミナールでは個別面談、保護者会に限らず、毎年6月に大規模な進学説明会を実施しています。県内の中学受験、高校受験の分析およびデータを公開しています。私立中学校や県立高校、私立高校にも協力いただき、毎年2000名の児童・生徒・保護者に来場いただいています。

さて、その甲斐ゼミナールに所属している私、渡邊智行は1966年（昭和41年）12月7日に山梨県大月市で生まれました。丙午です。この年はビートルズが来日公演を行った年です。

1973年 オイルショックの年 小学校入学
1979年 SONYウォークマン発売 中学校入学
1982年 500円硬貨発行 高校入学
1985年 電電公社、専売公社民営化 大学入学
1989年 消費税3%導入 甲斐ゼミナール入社

20代30代、平成前半はとにかく突っ走ったという印象しかありません。塾という存在の認識、社会的地位を高めたのは私たちだという自負があります。このころは何でもやってみる、とにかく突っ走るといった感じでした。

平成19年度から県立高校が全県一学区制になり、県内どこからでも自分の行きたい高校に行けるようになりました。私も40代になり自分の得意なところは磨きをかけ苦手を克服し多角的に物事をとらえようと目的を設定しました。そして50代になり自分の何が継承できるかを考えるようになりました。

自己紹介はなかなか難しいです。今回、普段接している生徒や職員に無記名でコメントをもらいました。



いつも明るい、元気いっぱい、心は若い、面白い、ふざけている、時間に厳しい、根は真面目、様々な情報に対するアンテナ、記憶力、計画性、切り替えの早さ、などなど、仕事をするうえで目標として意識したことばかりなので思いは伝わっていると確信しました。

最近は厳しく指導することが難しくなっており、子供でも大人でも、ほめられて伸びるタイプです、と自ら口にする場面に出会います。ただ叱られる機会がないと自ら律するしか手立てがないので心配になることが多いです。

コロナ禍で、かつて読んだ本の読み直しをしました。

山崎豊子の作品はやはりすごいです。横山秀夫、今野敏、堂場瞬一、中山七里、吉田修一、薬丸岳はおすすめです。三浦綾子、宮部みゆき、湊かなえ、3人とも“み”で始まりますね。袖月裕子もいいです。本の力はすごいです。

カレーはアフガン一択です。そばは専心庵です。畔柳は閉業してしまいました。

タバコをやめて449日、お酒は飲めません。ゴルフは少しもうまくなりません。

嵐は自ら立ち向かう「凡事徹底」が信条です。

どうもご清聴ありがとうございました。

*「縁のお話」

法蔵寺住職 善光寺法類 小幡徳生上人

少子化の波は止まらず、国県市町村が対策を講じるが出生数減はいきつくところまで行くと思われる。

山梨県の保育所の数2017年217施設、2023年には169施設と減り、今後施設数は統廃合が進み出生数と共に減少となる。

現在、保育施設を求める時、親御さんはインターネットによる検索で施設を知り、人との関わりなく入所準備となるケースが多いと思われる。一昔前は、育成会、子どもクラブ等の地域での繋がり、コミュニティの中でそのままその地域の保育施設に入園が当たり前であり、それが普通であったと思われる。近所周りに子どもがいた。

保育制度も変わり、あらゆる角度からの入園が可能となり利用しやすくなった。しかし人との縁（繋がり）は希薄になったと思われる。子どもは保育園、保育士との縁（繋がり）の中で日々成長して保育施設は役割を果たしていると思われる。すべてがそうではないが、一部の親御さんは一定の縁（繋がり）コミュニティだけで、他人との付き合いが閉鎖的であるように思われる。

縁から業（行い）

行いによって生ずるそれを業と言う。因果が決まる業は立ち振る舞いです。時間の経過と苦勞して成しえる事柄（授業、事業、卒業）



